



木脇中  
学校だより

# 『夢』実現

ゆめじつげん

第14号

～地域とともにある木脇中～

発行元：  
国富町立木脇中学校  
(文責 校長・向江)  
令和6年1月9日

## 3学期始業の日 2024・辰年 新たな事に「チャレンジ」する年に！



(本日の始業式の「式辞」を紹介します。)

新年 あけましておめでとうございます。本日、皆さんが元気な姿で登校できた事を大変うれしく思います。

冬休みは、ゆっくり過ごせましたか？初夢はいい夢でしたか？今年の目標は立てましたか？3年生は、受験勉強は順調に進みました？

さあ、令和6年、2024年が始まりました。ここ3年間はコロナの話ばかりしてしまいましたが、今年は正月の「能登半島地震」と「羽田空港での航空機の衝突・炎上」の話を通じて通れません。震度7の揺れて家屋が倒壊し亡くなった方や、寒さの中、避難所生活を強いられる方、衝突・炎上から脱出までに死を覚悟した方のことを思うといたたまれない気持ちです。しかし、そのような暗いニュースの中にあって、「航空機の大事故で一人の死者を出さなかったことは奇跡だ！」と日本航空機の乗組員の的確な対応に対し世界中から大絶賛され、少し気持ちが救われました。が、被災地の報道を見る度に、「行動しなければ！」と思い、個人として、校長として同じ気持ちの職員やPTA、生徒会と早急に行動を起こしていきたいと思えます。

さて、「一年の計は元旦にあり」。既に、一年の目標を立て

て、その実現に向けて努力しようと、決意を新たにしていることと思います。

2023年の卯年は、うさぎのイメージどおり「跳ねる」「努力が実を結ぶ」年とされ、2020年から続いたコロナもひと段落し、観光地も賑わうなど景気も回復してきています。まさに冬から春がきたように、花が咲き始めた1年でした。2024年の辰年は、今まで準備していたことが形になる、新たな成功を目指して、何かにチャレンジするのに最適な年とされています。

まさしく今日は、年替わり、学期替わりの、大きな節目です。変わるなら今日がチャンスです。

また、第3学期は、1年で一番短い学期ではありますが、学年を締めくくる学期であり、次の学年の準備の学期、「0学期」でもあります。特に3年生にとっては、義務教育9年間の集大成の学期で、自分の進路実現に向けて、わずかな時間も惜しんで、最後まで踏ん張って欲しいと思えます。「充実した一年を終えることができた」と胸を張って言うよう、努力していきましょう。

そして、3月16日の卒業式には、「NEW CHAPTER」を歩み出す卒業生の門出を、皆でお祝いしたいと思います。



↓今年も鶴戸神社で初日の出を拝もうと試みましたが、大渋滞に巻き込まれ、着いた時には普段の朝日でした。計画は失敗に終わりました。



<鶴戸神社> 初日の出



初詣参拝



運玉投げ



<東霧島神社>

せ  
そ生きる意味を見いだ  
目の前にある喜びにこ  
後悔と執着を捨て、今  
後悔と執着を捨て、今  
の人生を  
めでもない自分のため  
潔く生きよ、誰のため  
運勢末吉

おみくじ  
東霧島神社

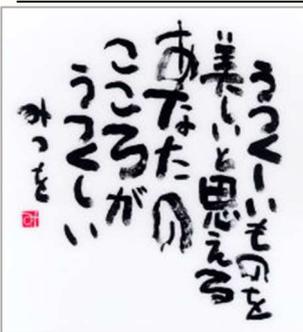
開運招福お守り

## 「うつくしいものを美しいと思える あなたのところがうつくしい」

年頭にあたり、今、私が日頃感じていることを少し話します。

テレビを眺めていると、悲しいかな、世界中のあちこちで「他国への侵攻」や「テロ」「人種差別」による憎しみの連鎖が、また、安全だと思っていた日本、私たちの身の回りでも「殺人」や「虐待」、「詐欺」など、とても人間がやっているとは思えない、信じられないことが、日常で行われています。

この連鎖をどこかで断ち切らなくてはなりません、その鍵は、相田みつをさんの「うつくしいものを美しいと思える あなたのところがうつくしい」という詩の中にあるの



ではないかと思っています。

美しい桜とか、夜空の星とか、絵画、音楽、人などを見て、「美しいものを美しいと感じる心」を持てるかどうかではないかと思えます。人の心や命の美しさ、大切さを感じる事が出来る人には、それを奪うような行為は絶対に出来るはずはないと思えます。

確かに心が疲れていたり、怒

りなどで感情がすさんでとげとげしくなったりすると、「うつくしいものの美しさ」に目が向かなかったり、気が付かないことがあります。



また、「美しさ」だけではなく、「やさしさ」「温かさ」にも気が付かないこともあります。「良薬は口に苦し」ということわざもありますが、心からの忠告や助言であっても、言われる側が、その言葉の本当の「温かさ」「大切さ」に気づかない心の状態だと、受け入れる事ができないという、残念な状況になる事も多々あります。

最悪、「美しさ」や「すごさ」に対して、自分にはできなくてうらやましいから、足を引っ張る。なんてこともあります。

そう考えると、「美しさ」に感動できる時こそ、「心が美しい」「落ち着いている」時だと思います。

私もまだまだその域に達しておらず、人の「やさしさ」や、「温かさ」、そして「美しいもの」を素直に受け止めることができていないので、改めて意識して、「美しく心惹かれるもの探し」をやってみようと思えました。

皆さんも、美しいものを美しいと感じ、感動する「美しい心」の持ち主であることを願っていますし、そんな学校に、地域、社会にしていきたいと考えています。



◎◎◎◎◎ 今年は家族4人+1で、麻雀卓を囲み賑やかな年越しとなりました。その雰囲気アルコールが進み、今年の「紅白」も最後まで見切れませんでした。さらに、三社参りの東霧島神社では、「おみくじ」が『末吉』でしたが、「自分のために潔く生きよ」と神様のお告がありましたので、信じて実践してみようかな？！(向江)

◇◆木脇中ホームページ◇◆

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4143/>

木脇中  検索



※学校の様子や学校だよりをスマホでも視聴できます！